

シングルトラックの通年教育は、K-12の生徒の平均的な数学と読解力を適度に向上させる



夏休みを最短週数に短縮した学校では、生徒の学力向上が最も顕著であった。

このレビューの目的は何か？

このキャンベル系統的レビューでは、シングルトラックの通年カレンダーを使用している学校の生徒の成績と、伝統的なカレンダーを使用している学校の生徒の成績を比較した30の研究から得られた知見を統合したものである。

シングルトラックの通年教育は、数学と読解の両方で平均的な達成度が高いことと関連しているが、全体的な生徒の習熟率はそうではない。達成度の向上は、他の研究で報告されている夏期学習の損失の程度と同程度である。

このレビューは何を対象としているのか？

生徒は、長い夏期休暇の間に学校で学んだことの一部を忘れる。この「夏期学習の喪失」は、特に低所得者層の生徒にとって大きなものである。夏の学習損失を減少させることを目的とした政策の1つは、通年教育(YRE: year-round education)である。

この目標を達成するために使用される特定設計は、ある学校のすべての生徒を同じ年間カレンダー上に配置することを含むシングルトラックの通年教育(YRE)である。

本レビューでは、2001年から2016年の間に発表された研究から、K-12年生の数学と読解に関するテストの得点と習熟率に対するシングルトラックの通年教育(YRE)の効果とそのエビデンスを検討している。

どのような研究が含まれているか？

本レビューには、シングルトラックの通年教育(YRE)を実施している学校の学力を、伝統的なカレンダーに基づいた教育を行っている学校の学力と比較した研究が含まれている。本ピックに関する合計39の研究のうち、9つの研究は、本レビューで焦点を当てている30の研究と組み合わせることができない方法で成果を報告している。これらの研究は2001年から2016年までのもので、すべてアメリカのK-12年生の学校教育を対象としていたが、学校の特徴(学校が位置する州、学校の規模、マイノリティの割合、低所得者の割合)は様々であった。

いずれの研究も実験デザイン(無作為割付)を使用していない。これらの研究は、(a)ある学校と非常に似ている別の学校を比較し、(b)夏季を短縮して休暇の週を最も少なくした学校の方が生徒の学力向上に効果があることを示したという点で、ほぼ均等に分割された。



このレビューはどれぐらい最新のものか？

レビュー作成者は、2016年までの研究を調査し、2017年7月と8月に電子検索を実施している。

キャンベル共同研究とは何か？

キャンベル共同計画とは、系統的レビューを公表する、国際的、任意的、非営利的な研究ネットワークである。本組織は、社会科学や行動科学の領域における取り組みのエビデンスを要約し、その質を評価している。本組織の目的は、人々のより良い選択とより良い政策決定を支援することである。

この要約について

本要約はCampbell Systematic Reviews ‘Single-track year round education for improving academic achievement in US K-12 schools: Results of a meta-analysis’ の著者であるDan Fitzpatrick, Jason Burnsに基づいている。

この要約の作成のためのアメリカ研究機関からの財政支援に感謝の意を表す。

このレビューの主な知見は何か？

通年教育(YRE)を実施している学校の学力達成度は高いのかというと、シングルトラックの通年教育(YRE)を実施している学校では、生徒の平均学力は読解と数学の両方で高かったが、習熟率はどちらの教科でも高くない。夏の学習損失に関する先行研究のメタ分析では、生徒は通常、夏の間1ヶ月分の学習を忘れてしまうという研究結果があるが、本レビューでは、通年教育(YRE)による効果は読解ではこれよりもわずかに高く、数学ではわずかに低いという結果となった。

通年教育(YRE)の恩恵を受ける生徒はいるのか？という問いに対しては、大部分の生徒はYREの恩恵を受けていないと言える。低所得者の家庭の生徒やマイノリティの生徒は、平均的な生徒よりも読解や数学どちらにおいても通年教育(YRE)の恩恵を受けない。小学生と中学生は、ほぼ同程度の読解力の向上を示している。しかし、通年カレンダーを採用することで、中学生の数学の成績が小学生よりも向上することがわかった。

通年カレンダーは、他のカレンダーよりも生徒の助けとなるか？という問いに対しては、暫定的ではあるもののその通りである。夏を最短週数に短縮した学校は、数学と読解の両方で生徒の達成度に最大の効果があった。

このレビューの結果は何を意味するのか？

シングルトラックの通年教育(YRE)は生徒の学力向上に効果があるように思われるが、それは従来の10週間の夏休みで生徒が経験する学習の損失と同程度のものである。

シングルトラックの通年教育(YRE)は、低所得の家庭の生徒やマイノリティの生徒には平均的な生徒よりも効果があるようには見えないが、数学では小学生よりも中学生の方が大きな効果があると思われる。

夏休みの期間を最も短縮した学校では、生徒の達成度が最も高くなった。このことは、ほとんどの学校で通年カレンダーによる生徒の学力向上を期待できることを示しているように思われ、これは1ヶ月間の学習に相当する。夏休みを7~8週間に短縮するよりも、夏休みを4~6週間に短縮した方が、より大きな改善効果がある。



AMERICAN INSTITUTES FOR RESEARCH®